

考動・躍動・感動

制服を着る意味

服は“場”に応じて着るもの

※『場』には、フォーマル（公式）な「場」と私的（自由）な「場」がある。

フォーマル（公式）な場：たくさんの人たちが共同で社会生活を行ったり、社会的行事を行ったりする場。→公共の場

『服』という字の成り立ち

：偏（へん）は、もともとは船を表す。つくりは、「添える」「つける」という意味。つまり「服」とは、もともとは船の両側につける添え板の意味。添え板をどんなに立派にしても、肝心の船がおんぼろでは、カッコ悪い。添え板ではなく、船を立派にしよう。

金曜日の道徳の時間に、全クラスで『制服』について考えました。中学校に入学して、大きく変わった点の一つに服装があります。小学校の時は、自分や家族が選んだものを自由に着ることができました。しかし、中学校では制服があります。「何で制服を着るんだろう？」と感じていた人もいるでしょう。正直な疑問だと思います。しかし、金曜日の道徳の時間に担任の先生の話を知ったり、資料を読んだりする中で、『制服を着る意味』を少しは理解できたのではないのでしょうか。また、ただ制服を着ていけばいいのではなく、正しく着ることこそが大切だということも理解できたかと思います。東中生としての3年間、制服を着る意味を理解し、正しく制服を着る中で、中身（自分自身）を磨いていきましょう。



（「制服の着る意味」を考えて）

- ・場に応じて着るものや、なぜ制服を着るかなどの理由が分かって良かったです。制服をしっかり着て、中学校生活を楽しまたいと思いました。将来、結婚式やお葬式に行ったり、（自分が）会社に行ったりすることが増えていくと思います。その時に、今回の授業を役立てたいと思いました。
(A組 渡辺ころさん)
- ・服を改めて分けると、いろいろな場に分けられることが分かりました。制服は毎日同じでイヤだなぁと思って、それを超えるいいところがあったので、これからはきちんとした制服でいこうと改めて思うことができました。
(B組 浅井奈緒さん)
- ・今まで制服に対して悪い点があったけど、この授業で良い点を探すと、私たちには制服があると思います。これから3年間、この制服で頑張りたいです。
(G組 野村友里さん)
- ・ルールはみんなが気持ちよく生活するためにあるもの。校則もそうだと思う。制服もみんなが気持ちよく過ごすためにあると思う。制服を着ることで気が引き締まったり、やる気が上がったと思う。
(H組 佐竹萌さん)